

その他の建築工事業におけるその他の用具を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	10~11	建材敷地内の資材置き場にて、脚立に上り資材を棚から下ろす作業をしていた際にバランスを崩し脚立から落下した。その際に床面に置かれたパレットとパレットの間に左足がはまり、その状態のまま倒れ込んだため左足首を強くひねった。搬送された病院にて左足首の骨折と診断された。	59~29	10
2	9~10	北面4F外壁タイル美装中、塩酸を希釈したバケツを移動の際、足場材にバケツが接触した勢いで水しぶきが顔にかかるとともに両目の中へ入ってしまった。	23~9	1
3	14~15	工場内で資材等の片付中に床に置いてあった工具箱につまずき、資材を持ったまま転倒し、左手首を骨折した。	30~9	1
3	14~15	14Fでパーテンション天井レールの取付作業をしているとき、OAフロア開口近くにセットした立馬が開口側へ滑り落ち、作業員が天台から落下し、右手首を負傷した。	41~9	1
4	15~16	現場にて清掃作業中、ゴムホースが破裂しセメントの残りが眼に入り、激しい痛みが生じ我慢できなくなった。	45~29	10
5	14~15	翌日の作業準備のため、会社倉庫にある高さ1.8m位の工具棚上段から打撃スパナーを右手で取ろうとした時、手から滑り落下して右目に当たり負傷した。	36~29	10
		工場において、トラックの荷台でワイヤーを引っ張っていたところ、引っ掛けてい		10

6	7~8	たワイヤーが外れ、左足首に当たり、骨折負傷したものである。	34	~ 29
6	14~ 15	倉庫でサポート整備作業中、積み上げていたサポートが一部荷崩れを起こし、右足安全靴に落下し負傷した。安全靴を履いていたが、サポート全体が被さり、安全靴鉄部外で負傷した。	42	~ 29
7	9~10	工場内トナープラント2階に弁当を配達していた際、突然爆発が起こり火災による熱風、煙、液体を全身に被り自職場へ避難した。その後、目の痛み、気分が悪くなった。	66	~ 9
7	14~ 15	改造工事現場で、学校の備品（スライド式テーブル）を移動し設置するとき、スライドしたテーブル天板が落下し、右足の指を骨折した。	52	~ 9
9	16~ 17	コンクリートポンプ車、車庫にてポンプ車下部洗浄ボックス水抜き穴より水を抜く為トロ箱を置き作業し、トロ箱を下部より（水が少々入っていた）左手で引き出そうとした時、トロ箱が引っかかって出なかったので押し引きを繰り返し行っていた時、左肩に痛みがはしり負傷した。	57	~ 29
11	11~ 12	はぜ折機を搬入の際、台車にのせ設置場所まで運び機械を持ち上げた際バランスを崩し、咄嗟に倒れないよう手を添えたところ、誤って機械のレバーに触れてしまい折り曲げ部分の刃が左手親指に接触し負傷したものである。	61	~ 29
11	11~ 12	建設工業の自社資材置場で、材料の片付け作業中、材木をのせているうまに躓き、地面に倒れた。その際に地面に置いていた角材（4角・2m）に身体の右側を強打して負傷した。（段々と痛みが強くなったので、夕方病院へ行った。）	44	~ 9
12	8~9	1F内部で吊クレーンレール（Iビーム）の取り付け作業を行っているとき、台車上に2本のIビーム（H450×W175×L5,750、重量523.3kg）が乗せてあり、ミニクローラークレーン（4.9t）で台車上のIビーム（1本）を吊り上げ、残った台車上のIビームを2人がかりで手押しで移動していた。台車上のIビームが元々2本乗せだったので、1本になった際に、台車芯に乗っておらず重心のバランスが不安全な状態にあって、台車がひっくり返り、鉄骨（Iビーム）が転倒し、右足が挟まれた。	49	~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html